

プレスリリース

IRENA、各国政府とプロジェクトデベロッパー に対し、持続可能なエネルギーのプロジェクト への参加を呼びかけ

プロジェクトの機会を気候関連資金とマッチングさせる気候投資プラットフォームに貢献する IRENA の取組

2020年3月5日、アラブ首長国連邦アブダビ発 - 2019年9月に開催された気候行動サミットで立ち上げられた政府間パートナー連合の取組が実行段階に入りました。低炭素で気候にレジリエントな投資を誘導する各国の必要性に呼応して設立された気候投資プラットフォームへの International Renewable Energy Agency (IRENA、国際再生可能エネルギー機関) の貢献として、金融投資家、各国政府、再生可能エネルギーのプロジェクトオーナーに対し、[14の地域ごとにまとめられた特設のポータルを通じて適切なプロジェクトを登録するよう呼びかけています。](#)

IRENA は、万人のための持続可能なエネルギー (SEforAll)、国連開発計画 (UNDP)、緑の気候基金 (Green Climate Fund) との連携により、開発途上国への資本フローを促進し、再生可能エネルギーのプロジェクトを拡大するため、気候投資プラットフォームを立ち上げました。それ以来、開発途上国でのエネルギー転換の促進に関心を高める多くの国際開発金融機関、国際金融機関及び個人投資家がこの取組のパートナーとなりました。

IRENA 事務局長の Francesco La Camera 氏は次のように語っています。「気候及び持続可能な開発の目標を実現するためには、世界的なエネルギー転換を加速させるために必要な資金を使えるようにすることが成功のカギであると広く認識されています。エネルギー転換を加速させるために要する資本は存在しており、適切で、効果が高く、確実に投資利益が得られるプロジェクトの機会に向けることは可能です。」

同氏はさらに、「IRENA として行動志向型の取組を促進する中、開発途上国が掲げる再生可能エネルギーの目標の実現に必要な資金へのアクセスを支援し、有益な社会経済的な効果を生み出していくことは、明確な最優先目標です。プラットフォームにはすでに強力なパートナーが多く参加しており、投資家、各国政府、プロジェクト推進者は、一体となって関連する低炭素エネルギー計画や投資機会を提起することが求められます」と述べています。

IRENA では、気候投資プラットフォームの活動をさらに支援するため、登録されたプロジェクトの提案者及び当該国政府と金融パートナーを結びつけ、協力できる分野を特定するとともに、政策決定者が再生可能エネルギーへの投資を可能にする効果的な環境作りを行うための能力強化を図るため、各地域ごとに投資フォーラムを開催していく予定です。再生可能エネルギープロジェクト、再生可能エネルギー電力の送電網構築プロジェクト、エネルギー効率プロジェクトが支援対象です。

投資フォーラムは 14 の地域クラスターごとに開催され、各国の具体的なニーズに柔軟に対応できるようにになっています。地域クラスターは、アフリカ 5 地域、アジア 4 地域、南米 2 地域のほか、カリブ地域、大洋州地域、南東ヨーロッパ地域で構成されます。

プロジェクトのオーナーは [ここ](#) で該当する地域クラスターごとにプロジェクトを登録してください。

パートナーとしての参加に関心のある金融機関は、[投資フォーラム専用ウェブページ](#) の 'how to become a partner' のボタンをクリックしてください。

###

国際再生可能エネルギー機関 (IRENA) について

IRENA は持続可能なエネルギーの将来に向けて移行しようとする国を支援する国際的な政府間組織で、国際協力の主要なプラットフォーム、研究拠点、再生可能エネルギーに関する政策、技術、リソース、経済に関する知識の集積所として機能しています。加盟国数 161 (160 ヶ国及び欧州連合)、加盟手続き中 22 ヶ国の積極的な参加の下、バイオエネルギー、地熱、水力、海洋、太陽光、風力エネルギーなどあらゆる形の再生可能エネルギーの幅広い適用と持続可能な利用を推進しており、持続可能な開発、エネルギーへのアクセス、エネルギー安全保障、低炭素経済の成長及び繁栄を追求しています。

お問い合わせ先：

IRENA: Damian Brandy, Communication Officer, dbrandy@irena.org, +971 (0) 2 417 9016

IRENA を次でフォローしてください <https://twitter.com/irena>、www.facebook.com/irena.org